

大賞受賞



第7回いちき串木野市黎明の地ふるさと短歌大会で、田中尚希さん（菱刈中学校3年）の作品が4,144人の応募の中から見事大賞を受賞しました。

**グラウンドが汗の雫を受け止めて
止まった僕を走り出させた**

陸上部に所属していた田中さん。この歌は練習中の一コマを表現したそうです。「受賞の連絡を受けた際はとても驚いた。今後も機会があれば作品応募など挑戦していきたい」と喜びを語りました。

秋篠宮皇嗣同妃両殿下ご訪問



特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」に出席された秋篠宮さま・紀子さまが伊佐市子ども発達支援センターたんぽぽを訪問されました。ご交流の場では子どもたちと手をつなぎ、歌に合わせて踊られるなど一緒に楽しめました。また部屋を出られる際には紀子さまが子どもたち一人ひとりを抱き上げられ、秋篠宮さまがハイタッチをされました。

火の用心！

大口ふれあいセンター前広場で伊佐湧水消防組合、伊佐湧水防火クラブ委員会、伊佐市女性消防団による防火セレモニーが行われました。4年ぶりとなったセレモニーでは、防火の誓いを本城幼稚園の代表児童が元気よく述べ、セレモニーの最後には参加した児童ら全員で火の用心と書かれた風船を空高く飛ばしました。



空まで届け

曾木校区コミュニティ協議会の主催で、ペットボトルロケット製作が行われました。参加した子どもたちは、ペットボトルや紙パックを型に合わせて切るのに苦戦していましたが、保護者と協力しながら思い思いのロケットを完成させました。完成したロケットはきれいな放物線を描いて飛行し、見ていた子どもたちからは歓声が沸きました。



たのかんさあの化粧直し？

10/28



平出水校区では毎年稲刈り交流会が行われます。その際にいなほ館裏にいるたのかんさあ（仁恵ノ木田之神）に餅でお化粧をしました。今年も無事に収穫ができたという報告と感謝の意を込めて行うもので、参加した子どもたちはわらに包まれた餅で思い思いの化粧を施していました。

和の広場



11/14

地域介護予防支援事業「和の広場」が湯之尾校区集会施設で行われました。

和の広場は、高齢者が誰でも気軽に集える場所を提供し、お互いが助け合い、人々の交流を楽しむことでひきこもりを防止することを目的としており、毎月第2・第4火曜日に行われています。

今回は食生活改善推進員の指導のもと、こんにゃく作りや「パッククッキング」という耐熱性のあるポリ袋を用いた災害時に向けた調理方法を学びました。

姉妹都市交流



姉妹都市の韓国南海郡で10月19日から21日に開催された「第29回郡民の日及び花田文化祭」に、橋本市長ほか5人の訪問団が参加しました。伊佐市と南海郡は平成3年に姉妹都市盟約を結び、これまでの約32年間に青少年サッカーやホームステイ、伊佐市制10周年記念式典への来訪など相互交流を続けてきています。

今回の訪問では、南海郡の張忠男郡守から「約5年ぶりに伊佐市との交流が再開されたことは非常に感慨深いです。文化、経済、社会等多様な分野での活発な交流を期待しています」と述べられ、橋本市長からも「今後、ますます南海郡と伊佐市が教育、文化、スポーツ、観光、経済等の面で交流が深まっていくことを希望いたします」と述べました。

記念碑完成



11/11

大口城址記念碑が完成し、関係者らで除幕式が行われました。この記念碑は「大口城を愛する会」の会員から寄付を募り建立されました。

同会の新東晃一会長は「地域の文化財は地域で守ることを理念に、大口城の調査は2014年からこれまでに300回、延べ2,767名にご協力いただいている。記念碑の建立はこれまでの活動の証になると同時に、これを機に大口城の歴史が広く認知されると嬉しい」と話しました。

大熱戦



11/18

牛尾・山野・平出水・大口東小学校の児童と保護者が集まり、「4校PTA対抗ドッジビーみんなでワイワイたのしまん会」が開催されました。他校との親睦を深めることで、小規模校から中学校へ進学した際の環境の変化に対応できるきっかけ作りとして企画されました。「ドッジビー」とは布製のソフトディスクを使用して行うドッジボール形式のゲームで、参加した川添愛奈さん（牛尾小学校6年）は「慣れないルールで難しかったけど楽しかった。他の小学校に友達ができ嬉しいです」と話しました。

だれやめ狂言「大工の落書」



10/29

郡山八幡神社で、だれやめ狂言「大工の落書」の公演が行われました。この狂言は本殿修理にあたった当時の大工が書いた愚痴の落書きを基に考えられた物語で、登場人物である座主、助太郎、作次郎の面白おかしいやり取りに会場は大笑い。午前と午後の2部構成で行われた公演は、大勢の観客で賑わいました。また会場では焼酎の振舞いやお楽しみ抽選会も行われたほか、愚痴を書いて奉納する「愚痴絵馬」も紹介されました。

田んぼ de レブナイズ ～稲刈り編～

小北農場さんの田んぼでプロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」による稲刈りが行われました。藤本巧太選手、松井智哉選手、丹野合気選手が参加し、鎌で刈ったりコンバインの操縦を体験しました。収穫したレブライス（伊佐米）はファンクラブの特典やホームゲーム会場での販売も予定しているとのこと。

11/13



久七トンネル防災訓練

11/16



国道267号久七トンネルで鹿児島県、熊本県合同の防災訓練が行われました。人吉側坑口から500m地点で車両2台の衝突事故が起き、双方の運転手が車内に閉じ込められたとの想定で、両県の警察や消防、災害派遣医療チームが一体となって車内に閉じ込められた運転手を救出し、応急処置にあたるという救助手順を確認しました。